

# 共に

## 共に学び合うやさしくたくましい子供



松山小学校は、旧松山町（現大崎市松山）の中心部に位置します。町内には特長的な米蔵や酒蔵が多く、校舎の形態や色調は蔵をモチーフとしてデザインされています。

令和6年度 学校要覧



### 大崎市立松山小学校

所在地 〒987-1304 大崎市松山千石字舩形 133

電話 0229-55-3129

FAX 0229-55-3207

Email [osaki\\_matsuyama@educ.osaki.miyagi.jp](mailto:osaki_matsuyama@educ.osaki.miyagi.jp)



校木 すずかけ  
(プラタナス)



校花 コスモス

## 学 校 沿 革 史

明 6(1873) 大成館を充用して千石小学校を開設  
 明18(1885) 長尾・須摩屋小学校を開設  
 千石小学校を松山小学校と改称  
 明19(1886) 松山高等尋常小学校と改称  
 明20(1887) 須摩屋小学校を廃し分教場となる  
 明31(1898) 長尾分教場を廃し長尾小学校となる  
 大 3(1914) 初代校旗制定(図案は定紋重剣菱)  
 大12(1923) 現在地に新校舎完成  
 大13(1924) 須摩屋分教場を廃止  
 昭 9(1934) 校歌制定  
 昭16(1941) 松山国民学校と改称  
 昭22(1947) 学制改革, 松山町立松山小学校と改称  
 昭33(1958) 第二代校旗制定  
 昭34(1959) 給食室新築落成, 校舎及び講堂全焼  
 昭36(1961) 新校舎落成式  
 昭43(1968) 水泳プール完成  
 昭48(1973) 開校100年記念式典, 羽黒児童会の歌制定  
 昭58(1983) 校木「すずかけ」, 校花「コスモス」制定  
 昭59(1984) 給食棟新築完成  
 平 3(1991) 第三代校旗制定  
 平 5(1993) 開校120年記念式典  
 平16(2004) 「キャリア教育地域指定」(文科省H16~18)  
 平17(2005) 新体育館完成, 新校舎建設着工  
 平18(2006) 市町合併により, 大崎市立松山小学校と改称  
 新校舎完成(12月)3学期から供用開始  
 平19(2007) 新プール完成および校庭・外部倉庫工事着工  
 平20(2008) 松山地区学校支援地域本部設立(文科省H20~22)  
 校庭・外部倉庫完成  
 平21(2009) 総合落成記念式  
 平22(2010) 東日本大震災, 体育館天井落下  
 平23(2011) 体育館復旧工事完了  
 平27(2015) 幼保小連携推進事業(県教委指定1年次)  
 平30(2018) 松山大成塾立ち上げ  
 令 2(2020) 大崎市立小中学校臨時休校(令和2年3月2日~5月31日)  
 (新型コロナウイルス感染症防止対策のため)  
 共に学ぶ教育推進モデル事業(県教委R3~5)  
 センター給食開始(大崎東学校給食センター)  
 令 3(2021) 体育館・小ホールLED化工事  
 校舎天井等耐震化工事  
 令 4(2022) 校舎天井等耐震化工事  
 令 5(2023) 開校150年記念式

## 教 職 員

※ 個人情報保護のため Web では非公開にしております。詳細は、紙メディアでご確認ください。

## 児童数 令和6年4月1日時点

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	知的	自情	病弱	計
男	12	13	12	13	18	15	3	2	1	89
女	15	12	16	17	11	13	2	1	0	87
計	27	25	28	30	29	28	5	3	1	176

## 開校150年(令和5年7月8日)

昨年の7月8日に開校  
 150年を迎えました。  
 明治6年に江戸時代の学  
 問所「大成館」の建物を  
 校舎にし「千石小学校」  
 として開校したのが始ま  
 りです。



## 我が校の自慢 金津流松山獅子躍

金津流松山獅子躍は、8~10名一組でササラを  
 直立に背負い、獅子頭をかぶって太鼓を囃し唱  
 いながら踊るという大変難しい芸能です。江戸  
 時代延宝期から幕末まで松山城内で踊られてい  
 ました。平成5年に保存会が設立され、本校で  
 は平成14年度から地域の保存会の指導の下、  
 勇壮な躍りを継承して  
 います。令和5年3月に  
 大崎市の無形民俗文化財  
 に指定されました。



## 松山小学校 校歌

昭和9年度制定(1934年)

作詞 土井 晩翠  
 作曲 片山 穎太郎

一 大崎耕土 東南の

隅に位し 万頃の

ゆたかの実 見るところ

わが松山の うましさと

里は学舎 あるところ

二 三百余年 古の

荒地を拓き この里の

基をすえし よき人の

そのすえ建てし 学びの舎

大成館の 名は昔

三 所をかえて いや栄ゆ

わが学びの舎 松山の

名をこそおえれ ここにして

教えの道を たどりこし

紅顔の子ら いく千か

四 無言の教え 高き山

長き流れを 眺めつつ

新たな御代の あらたなる

希望の光 ゆたけくも

日々向上の 道てらす